

# 広大生協の公務員講座を推薦します

## 広島大学法学部長 永山 博之



広島大学では、法学部卒業者の約半数が、国、地方の公務員として就職します。また全学でも各学部から多数の学生が公務員として就職しています。国立大学にとって、公務員を輩出することは、重要な社会的使命のひとつです。

広島大学は、その教育を通じて、間接的に公務員試験を受験する学生をできるだけ援助しています。特に法学部では、設置されている授業科目を履修し、内容をきちんと理解することが、公務員になるために非常に役立ちます。行政の基礎は法だからです。

しかし、実際に公務員試験を受験する場合には、大学の授業を受けることだけでは十分な対策になりません。大学の入試を受けたみなさんであれば理解できると思いますが、記憶を定着させ、実際に問題を解けるようになるためには、問題練習を繰り返さなければならないのです。大学の授業は、科目の内容を理解するためには役立ちますが、試験対策はそれだけではありません。練習問題を繰り返し解いて、内容を完全に理解することが必要です。

広大生協の公務員講座の意義はここにあります。よい講師陣とすぐれた教材を整備し、学生を実際に試験に合格できる態勢にもっていくことは、広大生協のような、コストをかけて、教育体制を整備できる組織にしかできません。その効果は、広大公務員講座の修了者の合格率データをみればあきらかです。早めの準備が重要になっている状況を見ると、Flying Start 講座の受講も重要な選択肢です。

公務員になり、仕事で能力を発揮するためには、問題意識と行動力、広い視野が必要です。それと同時に、まず試験に合格しなければ何も始まりません。みなさんが、広大生協の公務員講座を活用して、自らの志望をかなえられることを心から希望しています。

## 公務員を目指すみなさんへ ～国家公務員総合職への挑戦も期待しています～

### 広島大学グローバルキャリアデザインセンター

公務員の仕事の大きな魅力は、第一に、国民全体の奉仕者として営利を目的とせず「みんなのために」働くことができることではないでしょうか。民間企業の活動ではカバーされない、けれど国民・住民にとって必要なサービス、これを提供するために働くことができます。

第二に、多種多様な業務があるということです。公務員の場合、行政機関ごとに多種多様な部署が存在し、配属先も固定されないため、様々な仕事を経験しながら、自分に最も適性の仕事を見出すことができます。研修制度等も整っており、長期海外留学など様々な経験ができることが大きな特徴です。公務員は、明日の日本をリードする貴重な人材ですから、その能力を育成する制度は非常に充実しています。こうして培われた高度の専門的技術と能力によって、社会の基盤が形づくられていきます。

また、公務員と一口に言っても、国か地方かの違いに始まり、職種も多種多様です。特に、国家公務員総合職であれば、まさに国家運営の礎であり、グローバル化する世界で、この国の将来を切り拓く担い手となります。

スーパーグローバル大学である本学としては、国家公務員総合職への挑戦も期待しています。本講座で十分学び、ぜひ合格してほしいと思います。

広島大学主催  
公務員  
セミナー

